

## PM16C-04XDL、PM16C-16電源交換マニュアル

### 用意する物

- ・ 交換用電源 (LDA10F-12、LDA10F-5、LDA10F-3)
- ・ プラスドライバー
- ・ M3ナット回し
- ・ 油性ペン (可能であれば2色)
- ・ 取外したネジを置く皿 (ネジ紛失防止の為)

### ※ 交換作業の前に

弊社HPで配布しております、『簡単制御ソフト (Windows用)』等を使用して、各設定値を読み出し、保存してください。

電源交換により、万が一設定値が変更されてしまった場合のバックアップとして使用します。

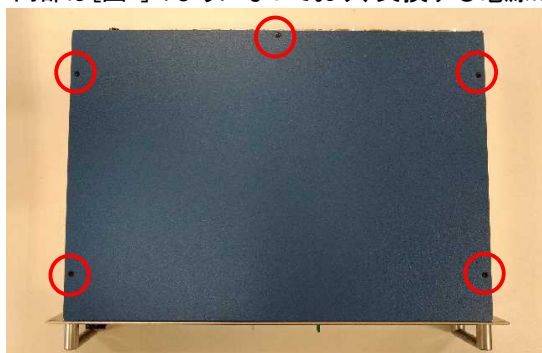
### ※ 取外したネジ類は、交換後も全て使用します。

紛失を避けるために、取外したら皿などに置くようにし、取扱いに注意してください。

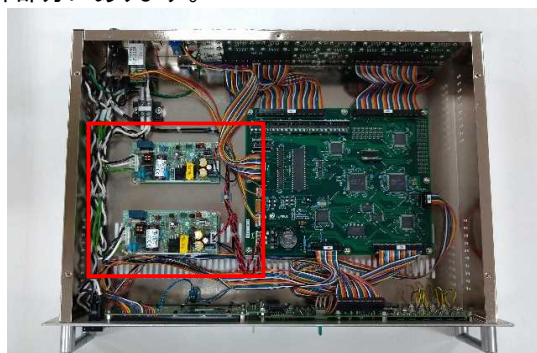
### ※ **感電等の事故防止の為、**

**以降の作業は必ず電源ケーブルを抜いた状態で行ってください。**

- ① [図1]の赤枠部分のネジ5個を取外して天板を取外します。  
内部は[図2]のようになっており、交換する電源は、赤枠部分にあります。



[図1]



[図2]

- ② 電源の位置を確認します。  
電源は①、②、③の位置に設置されており、基本的には

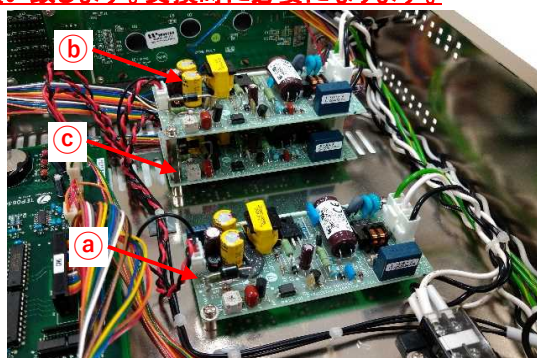
- ① +12V電源
- ② +5V電源
- ③ +3.3V電源

の配置になっておりますが、②と③の位置が稀に違うものが御座いますので、

**必ず交換前に配置を確認し、メモする等の記録をお願い致します。交換時に必要になります。**



[図3]



[図4]リアパネル側から見た図

電圧値の識別は、電源に実装されている大型のコンデンサにシールで記載されております。

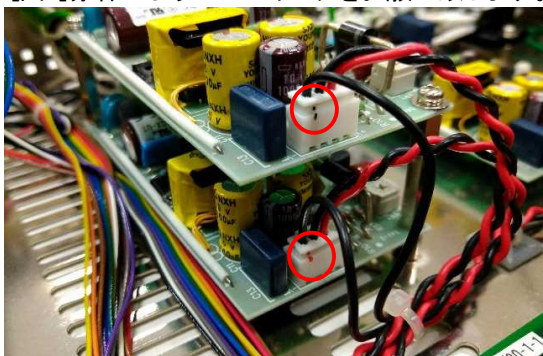


[図5]

BWS12SX-U1	…	+12V電源
BWS05SX-U1	…	+5V電源
BWS3.3SX-U1	…	+3.3V電源

③ 電源取外しの前に

②、③電源の出力側コネクタ(赤、黒の配線)は、引抜いてしまうとどちらかわからなくなる可能性が高い為、  
[図6]赤枠のようにマーキングをお願い致します。



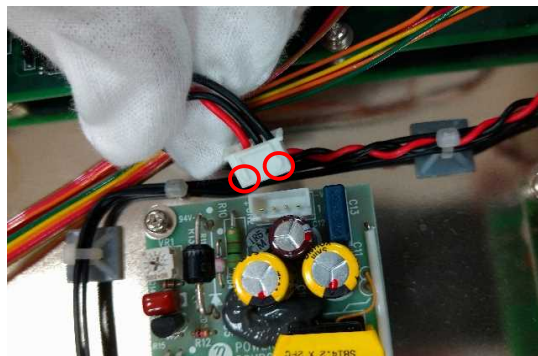
[図6]

④ コネクタの引抜き

入力側のコネクタ(黒、白、緑の配線)は、[図7]赤枠のツメを押さえながら引抜いてください。  
出力側のコネクタ(赤、黒の配線)は、[図8]赤枠部分が引っかかって止まっているだけですので、  
優しく引抜いてください。



[図7]入力側コネクタ

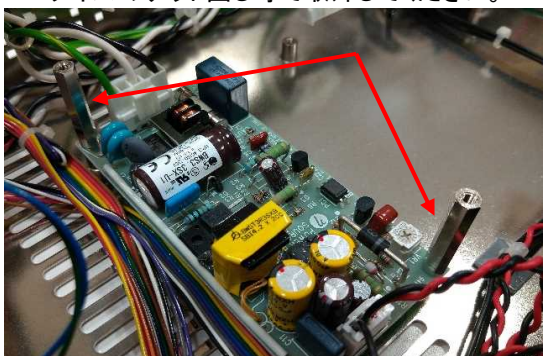


[図8]出力側コネクタ

コネクタを取外した後、電源を固定しているネジを取外すと、電源が取外せます。

⑤ ③電源は、ネジではなくスペーサで固定されています。

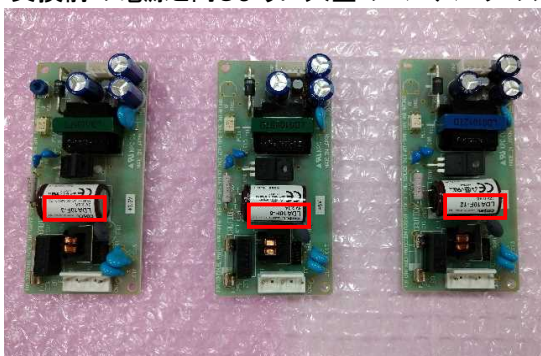
M3サイズのナット回し等で取外してください。



[図9]

⑥ 交換用電源を用意します。

交換前の電源と同じように大型のコンデンサのシールで電圧値の識別ができます。



[写真10]

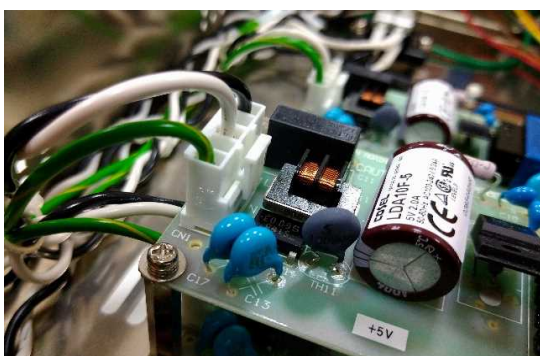
LDA10F- <b>12</b>	…	+12V電源
LDA10F- <b>5</b>	…	+5V電源
LDA10F- <b>3</b>	…	+3.3V電源

⑦ 取外しと逆の手順で、交換用電源を取付けます。

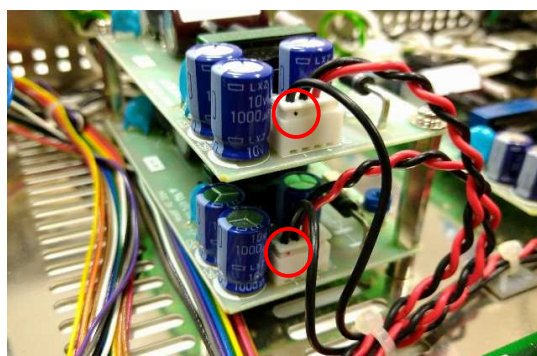
**交換前の記録を参考に、各電源が必ず交換前と同じ位置になるように配置をお願い致します。**

引抜いたコネクタも同じように差し込みます。

⑥、⑦電源の出力側コネクタは、[写真12]赤枠のように、③で行ったマーキングに従って接続します。ネジやスペーサは取外したものをそのまま使用します。



[写真11]入力側コネクタ取付参考



[写真12]出力側コネクタ取付参考



[写真13]電源交換後参考図



[写真14]リアパネル側から見た図

電源を取付けたら、天板を取付けます。こちらも取外したネジをそのまま使用します。

⑧ 設定値の確認

電源ケーブルを接続、起動し、設定値が変更されていないか確認をお願い致します。万が一変更されていた場合は、『簡単制御ソフト (Windows用)』等を使用して、最初に読出したバックアップデータを書込んでください。

以上で交換作業は完了です。